

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 16 日 更新

事務事業名		区長連絡協議会運営支援事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	1	自治の健康					所属部	総務部	課長名	坂井 竹志	
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進					所属課	総務課	担当者名	大久保 志穂	
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成					所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10328	根拠法令	合志市区長連絡協議会事業補助金交付要綱 合志市区設置規程				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする合志市区長連絡協議会の事務局を受け持ち、運営についての支援を行う。 平成19年5月25日合志市区長連絡協議会設立(旧町の現状で合併、合志市区長連絡協議会36区長及び西合志町区長連絡43区長)。平成21年11月1日桜路区が新設、平成23年4月1日に陽光台、平成26年9月1日にボレスター光の森自治会、平成27年4月1日に桜和の丘区、平成27年4月9日にみずき台区、令和4年5月1日にそのまち区が設立され、85区となった。 目的は、会員相互の連絡協調、親睦をはかり、研修に努め、市の行政の健全にして円滑なる運営に寄与するとともに、常に各区民の福利増進と各区の発展を図り、もって住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とする。
【業務の流れ】	合志市区長連絡協議会事務局の事務①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1. 区長連絡協議会、役員会の開催および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2. 市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3. 菊池南部区長協議会連合会主催スポーツ大会への参加(開催通知発送、事前練習開催、参加者取りまとめ) 4. 県北6市囃子員代表者連絡協議会事務(荒尾・玉名・山鹿・菊池・阿蘇、合志の6市で構成) 5. 菊池南部区長協議会連合会事務(合志市・大津町・菊陽町の1市2町で構成)
【主な予算費目】	【款】2 総務費 【項】1 総務管理費 【目】1 一般管理費 【節】3 職員手当、9 旅費、19 負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
区長(自治会長)85名で組織する合志市区長連絡協議会の事務局を担い、会の運営を事業計画に基づいて運営及び事故無く実施した。総会1回、定例会1回、役員会を5回、研修会を1回実施した。協議会としては、市補助金を原資に、自治会未加入世帯への呼びかけの際の基本的な方法や実践例などをまとめた「自治会加入促進マニュアル」の作成、自治会加入促進動画を作成、転入者へ配布する加入チラシに二次元バーコードを貼るなど、市と共同で自治会加入を促す事業を行った。自治会加入率は、76.74%(前年度比▲約2ポイント)であった。 また、1市2町で構成する菊池南部区長協議会連合会が主催する宿泊研修が新型コロナウイルス感染防止のため役員会において中止となったことにより普通旅費を減額した。	前年度と同様①補助金交付申請受付、交付決定、支払②協議会等の開催および各種行事等への参加 1. 区長連絡協議会2回、役員会の開催5回および先進地研修等の実施(開催通知発送、会議資料作成) 2. 市等主催研修会等への参加(開催通知発送、参加者取りまとめ) 3. 菊池南部区長協議会連合会の各事業への参加(役員会、総会、体育大会、研修会) 4. 県北6市区長等代表者連絡協議会への出席	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 区長連絡協議会の開催回数	回	行政協力員配置事業で区運営費補助金を予算化していたが、区長連絡協議会運営支援事業に予算化したことによる補助金の増
→ イ 役員会開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市区長連絡協議会員の区長	人	→ ア 区長の数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
区長連絡協議会を円滑に運営できる	%	→ ア 区長連絡協議会・役員会の開催が支障なく開催された割合
		→ イ 研修会等の開催件数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的とするため、各会員が抱える地域の課題・問題点の解消のため役員会議、全体協議会議等及び研修会を実施していく。その成果指標として設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 回		2	0	2	2	2	2	2	2
	イ 回		5	7	5	5	5	5	5	5
② 対象指標	ア 人		84	85	85	85	86	88	88	88
	イ									
③ 成果指標	ア %		70	100	100	100	100	100	100	100
	イ 回		1	1	1	1	1	1	1	1
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		456	460	444	14,989	14,660	14,660
	(A) 事業費計	千円	0	456	460	444	14,989	14,660	14,660	14,660
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	36	36	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	36	36	0
	人件費	正規職員従事人数	人	6	7	7	6	7	7	7
		延べ業務時間	時間	1,245	1,048	700	940	700	700	700
		(B)人件費計	千円	4,867	3,988	2,788	3,423	2,788	2,788	2,788
トータルコスト(A)+(B)			千円	4,867	4,444	3,248	3,867	17,777	17,448	17,448

合志市

事務事業名	区長連絡協議会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 前年度と同様に各会員が抱える地域の課題・問題点の解決を図るため役員会、全体協議会議等及び研修会を行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 区長の任期、就任時期の相違により、区長意識に差があるので、相互の意見交換・研修により向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 他に類似のものがいないため。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 活動の低下につながる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 市は地域づくりを各区（自治会）と連携して行っていくこととしており、その代表者組織への支援は住民サービス向上につながるものであり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

区長相互の親睦を図るとともに各区民の福利増進と各区の発展を図り、住みよい明るいまちづくりに貢献することを目的としており、事業計画の協議会議・研修会を行い円滑に運営ができた。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策